

6/19

埼玉県生協連第37回通常総会
組合員の期待に応える生協へ
社会的役割の一層の強化を



来賓の島村JA埼玉県中央会常務理事

石川会長理事より「2007年度、県内生協の組合員は約7万人増え199万人に、生協への期待の表れととらえ一層の努力を。地球温暖化防止では日本生協連の呼びかけに応え、多くの組合員参加で取り組みたい」とあいさつがありました。続いて、来賓の石島埼玉県民生活部消費生活課課長と島村JA埼玉県中央会常務理事よりごあいさつをいただきました。議案では改正生協法にもとづく定款・規約改正を含む全議案が賛成多数で承認されました。

6/11

第1回県内消費者団体交流会
「消費者行政一元化について」の
学習と活動を交流



市町村消団連やくらしの会、県内消費者団体などの15団体から33人が参加し交流学習会では、池本弁護士(埼玉消費者被害をなくす会副理事長)を講師に消費者行政一元化の必要性和「県や市町村の消費者行政が充実してこそ国(消費者庁)が現場とつながる」こと等を学習しました。その後、参加団体から環境に配慮したマイバッグ持参、CO2やゴミの削減等の取り組み、消費生活展などへの参加の報告と交流が行われました。

埼玉県生協連写真ニュース

発行:埼玉県生活協同組合連合会 〒330-0064 さいたま市浦和区岸町7-11-5 TEL 048-844-8971 URL http://saitama.kenren-coop.jp

2008 夏号 No.27

埼玉新のマスクットコト

6/7

消費者・生活者の視点に立った行政への転換を

消費者行政充実埼玉会議 主催 (埼玉弁護士会・埼玉県消費生活コンサルタントの会・NPO法人埼玉消費者被害をなくす会・埼玉県消費者団体連絡会・生協を含め26団体:7/17現在)

政府が進める「消費者行政一元化」により、関係省庁に対するより強い勧告権限や消費生活分野の法律の所管ができる「消費者庁(仮称)」の創設に期待が寄せられています。その土台として、県や市町村での消費者行政の充実が重要となることから、埼玉県に対して「消費者行政推進埼玉地方本部」の設置の要望や、各市町村の相談窓口の充実などを求める取り組みを行っていくことが確認されました。



主催:消費者行政充実埼玉会議

シンポジウムには80人が参加

次々販売などの悪質商法の被害防止や救済のため、NPO法人埼玉消費者被害をなくす会と共に、消費者団体、生協など20団体が請願署名(4,466筆)などを通じ要望していた、特定商取引法と割賦販売法の改正が6月11日参議院本会議で成立しました。

5/17
埼玉県産米交流会
土のめくもりを感じながら
親子で田植え体験

10回目の「体験田植え」が、組合員37家族130人の参加で行われました。会場となったJA全農さいたま「彩の米センター」の田んぼでは、泥に足を取られながらも楽しそうに田植えをする親子の歓声で沸いていました。今後は、夏に稲の生育状況を調べる中間観察会、秋に稲刈り体験を行っていきます。



衆・参国議員の方々の
ご出席と福田総理大臣からも
メッセージが寄せられました。



牧原秀樹衆議院議員(民主党)
枝野幸男衆議院議員(民主党)
大門みきし参議院議員(日本共産党)
日森ふみひろ衆議院議員(社民党)

6/20

埼玉県生協ネットワーク協議会全体会(第1回協議会)
「広く地域の中でつながりあうために」を
総合テーマに学習・交流



47人の参加で全体会が行われました。新井会長より「2007年度、環境や裁判員制度の学習、横浜検疫所検査センターの見学や交流などを行ってきました。これらの活動を単協や地域に持ち帰り広げていただきたい」とあいさつがあり、2008年度も引き続き、学習・交流活動を強めることが確認されました。

6/27

NPO法人埼玉消費者被害をなくす会第5回総会
幅広い方々に支えられ、さらに活動の発展を



来賓の石島埼玉県民生活部消費生活課課長

「消費者団体・消費者・専門家(弁護士や消費生活相談員等)など幅広い方々の参加で運営されていることが当会の活動の特徴。引き続き会の発展にご協力いただきたい」と石川理事長。来賓の石島消費生活課課長より「消費者被害の未然防止という共通の目標に向けてより一層お力添えをいただきたい」とごあいさつをいただきました。出席者50人(表決権総数128票中109票)で開催され、全議案とも賛成多数で承認されました。

小売業界初!「CO₂排出量ゼロ店舗」が草加市にオープン

6月24日オープンしたコープ草加八幡店(売り場面積約400坪)では、京都議定書で定めたCO₂削減目標の達成に積極的に貢献するため、従来の店舗よりCO₂排出量を削減。残りをコープネット事業連合が「カーボンオフセット・プロジェクト(COP)」で購入した排出権で置き換え、最終的に店舗由来のCO₂排出量をゼロにしています。



オープン当日は、4,000人を超えるお客様の来店で終日盛況

さいたまコープ

南埼玉産直ネットワークとの交流田んぼで草取りと生き物観察

快晴に恵まれた6月14日、組合員35家族116人の参加で行われました。草取りに励む大人たちを横目に子ども達はさっそく虫捕りを開始。見つけた生き物の中には、環境省や埼玉県の「レッドデータブック」で「準絶滅危惧」に指定されているトウキョウダルマガエルやニホンアカガエルなども含まれていました。農薬と化学肥料を完全に絶って今年で三年目。田んぼにはいろいろな生き物がやって来るようになりました。



ドゥコープ

所沢センターを会場に「所沢ブロックまつり」を開催

今年度より県内6つのブロックを機関化し、ブロックごとに「おまつり」を開催することになりました。その第1弾として、「所沢ブロックまつり」が6月15日に行われ、650人が参加しました。午前11時、自由の森学園のみなさんによる和太鼓を合図に開幕。13生産者、委員会、地域協議会、組合員個人のお店など、ブロック総力をあげての一大イベントとなりました。

模造紙に手書きで生産者・消費材アピール



生活クラブ生協

沃土会(深谷市)春の収穫祭 旬の野菜の収穫と交流を楽しみました

6月7日、組合員82人と生産者・スタッフ合わせて130人が参加しました。「生産者と食べ手側の共通認識を持つことが食育にもつながる」と沃土会会長の矢内さん。その後、玉ねぎ畑や青々と葉の生い茂るにんじん畑、ロメインレタス畑で収穫を楽しみ、ネギ・さつまいもの苗の植え付け体験を行いました。汗をかいた後には、野菜たっぷりの豚汁やおにぎりなどが振舞われました。



埼玉県勤労者生協



この紙は再生紙を使用しています PRINTED WITH SOY INK 印刷は環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

“介護ウェーブをまきおこそう!” 大学学習会に95人参加

6月27日に「介護ウェーブ大学学習会」を開催しました。講演では全日本民医連事務局次長の林氏が、「今の介護保険制度がいかにかんたものであるか、負担の増大が高齢者の生活困難の事態を招いている」など、さまざまな事例を交えて説明されました。その後、介護事業の利用者家族など11人によるリレートーク「介護現場からの怒りの報告」も行われました。



医療生協さいたま

第26回「住まいの学習講座」 住宅の寿命を延ばすことでCO₂削減にも効果

7月5日、「住まいづくりについての省エネとは何か?」をテーマに行われました。講演では、「外国から運ばれた材木で家をつくるより、近郊の山で伐採された材木のほうが、運送エネルギーが少なく済み、地元の人も山も活性化され元気になります。イギリスの住宅の寿命は75年、日本は25年。これを50年に延ばすと建替えて出る廃材の量が半分になり、CO₂削減にも大きな効果があります」と話をされました。



さいたま住宅生協

一級建築士と実際の木材を手に取りながら、和やかに歓談

お父さんと遊ぼう“官ノ倉山ハイキング”

6月1日、242世帯610人が参加しました。官ノ倉山(小川町)は途中に鎖場もある山です。この行事はお父さんと子どもが1対1で向き合うことで、子どもの気持ちを考えてゆっくり待ってあげたり、言葉に耳を傾けたり、子育ての新たな発見があります。子どももお父さんの前では甘えるだけでなく、「ちょっとがんばってみようかな」という気持ちが出て、最後まで歩けるようです。そんな子ども達の成長ぶりにお父さん達はびびりしていました。



子どものその保育生協

学生委員会主催で七夕企画

購買部の浴衣販売に合わせて、七夕飾りを購買部店舗前に設置し、「組合員の願い」を短冊に書いてもらいました。最終日には「浴衣でヨーヨーつり」を開催し、参加費の一部をユニセフに寄付しました。



淑徳大学みずほ台生協

